

eastspring
investments

英国フルーデンシャル・グループ



イーストスプリング インド投資マンスリー

2021年10月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

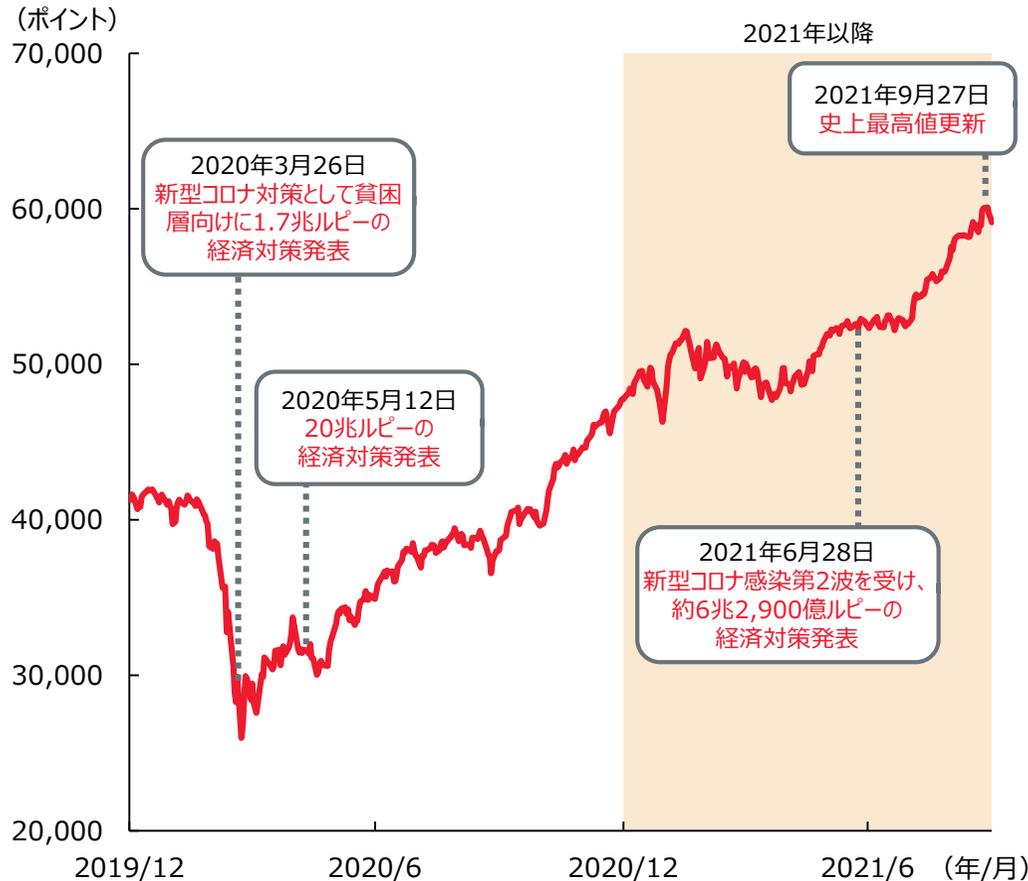
インド投資マンスリー
動画配信中！



211008(01)

株式：金融、財政政策が下支えとなり最高値を更新

SENSEX指数の推移 (日次、2019年12月末～2021年9月末)



2021年9月の振り返り

9月のSENSEX指数は、世界の株式市場が高安まちまちとなる中、27日に史上最高値（終値ベース）を更新。月間で2.7%の上昇となりました。

インド政府は資金繰りが厳しい通信業界に対する支援策を発表したほか、繊維製品、自動車・ドローン分野を対象とした生産連動型優遇策（PLI）の予算を承認。また、不良債権を買い取るために新たに設立する資産管理会社（バッドバンク）への政府保証を承認したことなども好感されました。ワクチン接種の進展や国内外の機関投資家からの継続的な資金流入も株価の下支え材料となりました。

セクター別では、エネルギー、公益セクターの好調が目立った一方、素材セクターは中国の不動産市場に対する懸念を背景に軟調に推移しました。

規模別指数の期間別騰落率 (2021年9月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	+2.7%	+12.7%	+19.4%
中型株 (BSE中型株指数)	+5.9%	+12.1%	+25.1%
小型株 (BSE小型株指数)	+4.3%	+11.3%	+36.0%

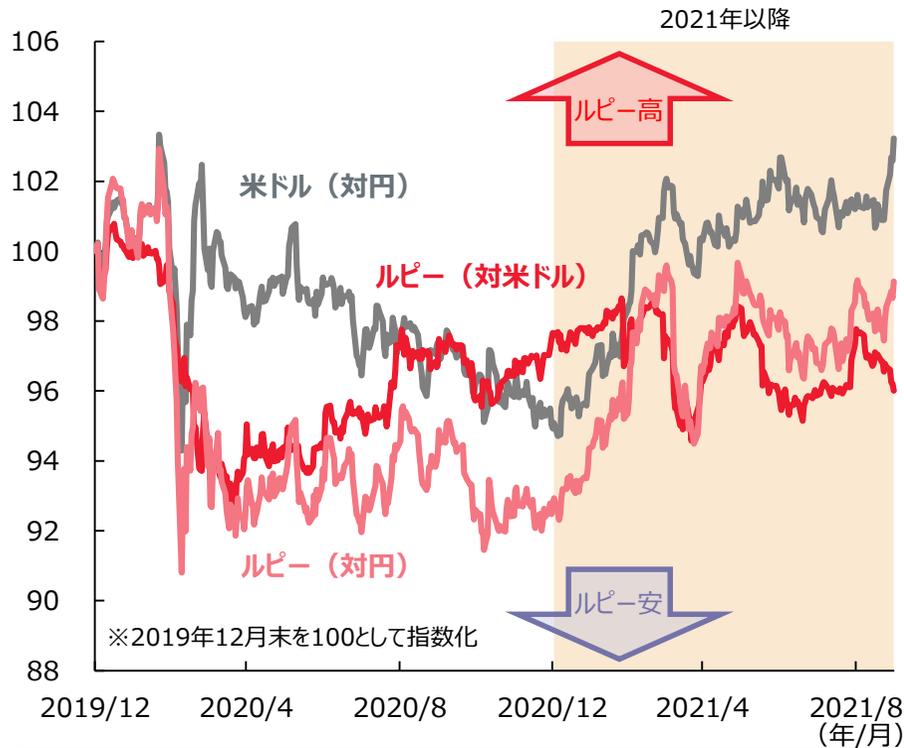
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※すべて配当無し（プライス）、インドルピーベース。

為替：インドルピーは対米ドルで下落、対円では横ばい

- 9月のインドルピーは、対米ドルで1.8%の下落、対円では円安ドル高の影響を受け、ほぼ横ばい（0.1%の上昇）となりました。
- インド準備銀行は通貨安定のため外貨準備を積み増しており、過去最高水準を維持しています。

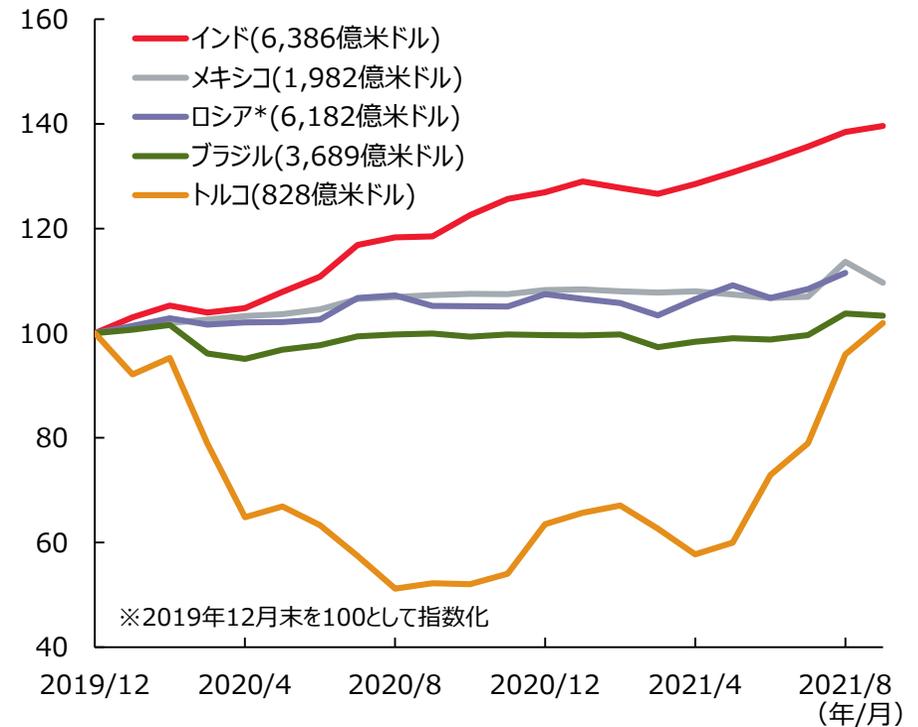
ルピーおよび米ドルの推移

(日次、2019年12月末～2021年9月末)



主要新興国の外貨準備高

(米ドルベース、月次、2019年12月～2021年9月*)

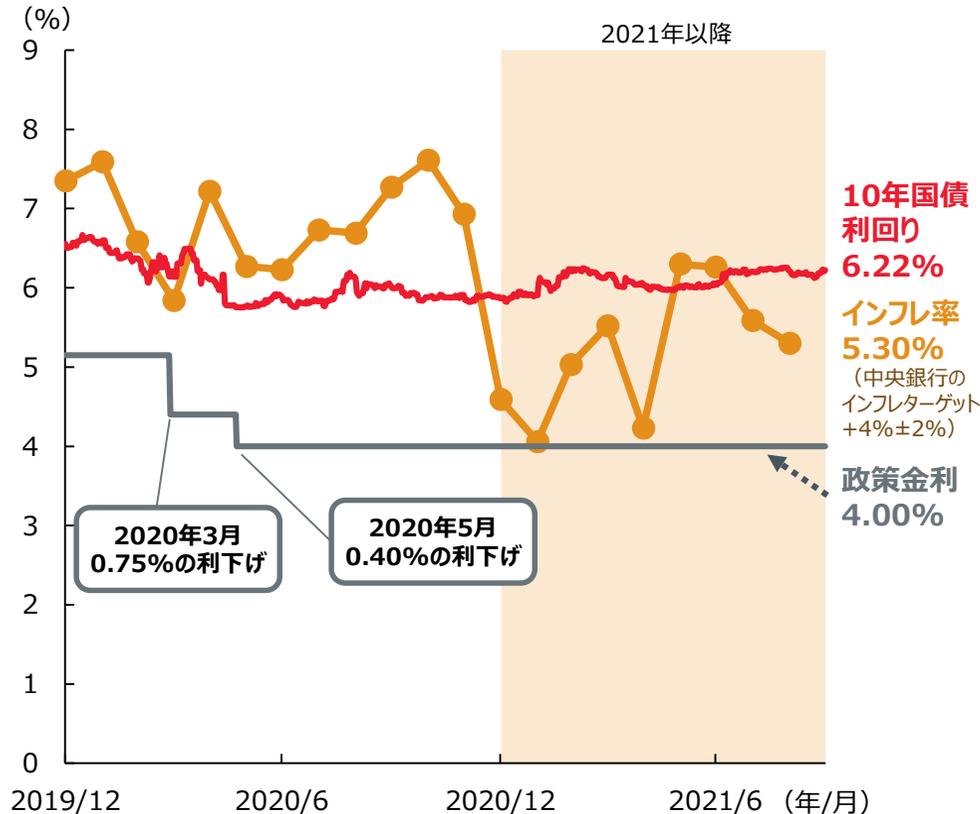


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*ロシアのデータは2021年8月まで。

債券：インフレ率は低下、債券利回りは横ばい

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(日次、2019年12月末～2021年9月末)



2021年9月の振り返り

9月の10年国債利回りは、ボラティリティの高い不安定な動きの中、前月比横ばいで月を終えました。8月末に4-6月期のGDP（国内総生産）成長率が発表された後、一部外国銀行の国債購入により債券価格は上昇（利回りは低下）しました。また、13日に発表の8月の消費者物価指数（CPI）が前年同月比+5.30%と前月から伸びが鈍化し、金融緩和継続期待が高まったことも国債の支援材料になりました。政府は2021年度下半期の国債発行計画は変更せず、今年度の発行予定額（12.05兆ルピー）を維持するとしました。また、インド国債が今年度中に国際的な債券指数に組み入れられるとの期待感も債券価格の下支えとなりました。更に、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が23日、29日に実施される国債買入プログラム（G-SAP 2.0）に10年国債を含める決定をしたことを受け、国債価格は上昇しました。しかし、米国債利回りと原油価格の上昇により、国債価格の更なる上昇は限定的でした。月末にかけては、利益確定売りが断続的に出たこともあり、債券価格は下落基調となりました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2021年 8月末	2021年 9月末	変化幅
10年国債利回り	6.22%	6.22%	+0.01%
10年社債利回り***	6.97%	6.95%	-0.02%
利回り差	0.75%	0.73%	-0.02%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2021年8月分まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

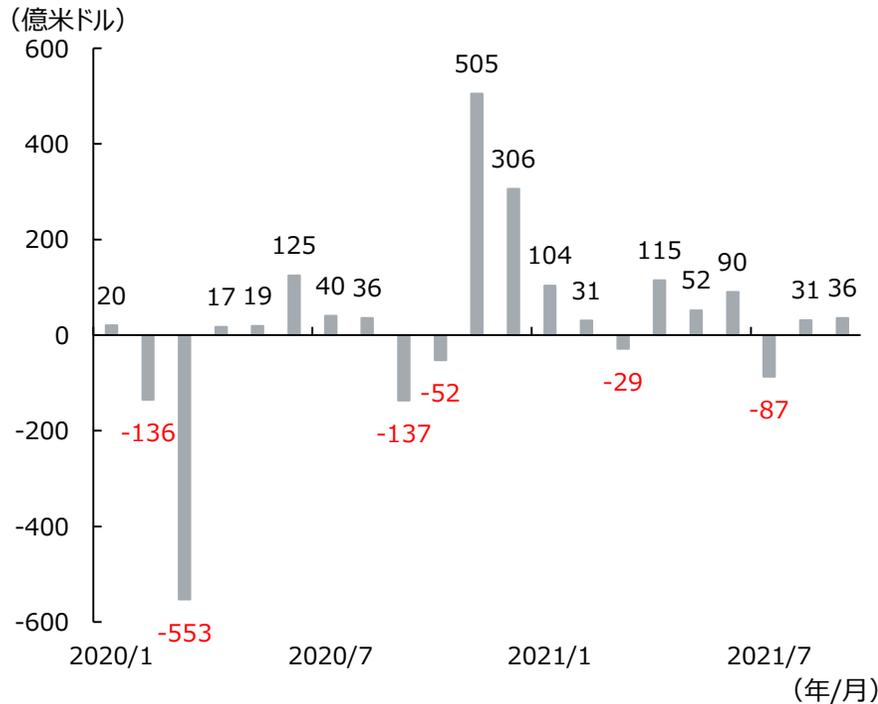
※10年国債は、2020年5月の途中で銘柄が変更されました。

新興国／インド株式市場の外国人投資家からの資金流入の推移

- 新興国株式市場は、世界的なリスクオフ局面で外国人投資家の資金が流出する傾向があり、昨年の新型コロナウイルスによる世界的な株安局面では単月として過去15年間で最大の553億米ドルが流出（2020年3月）しました。
- 9月は、新興国／インド株式市場ともに、2ヵ月連続での資金流入となりました。

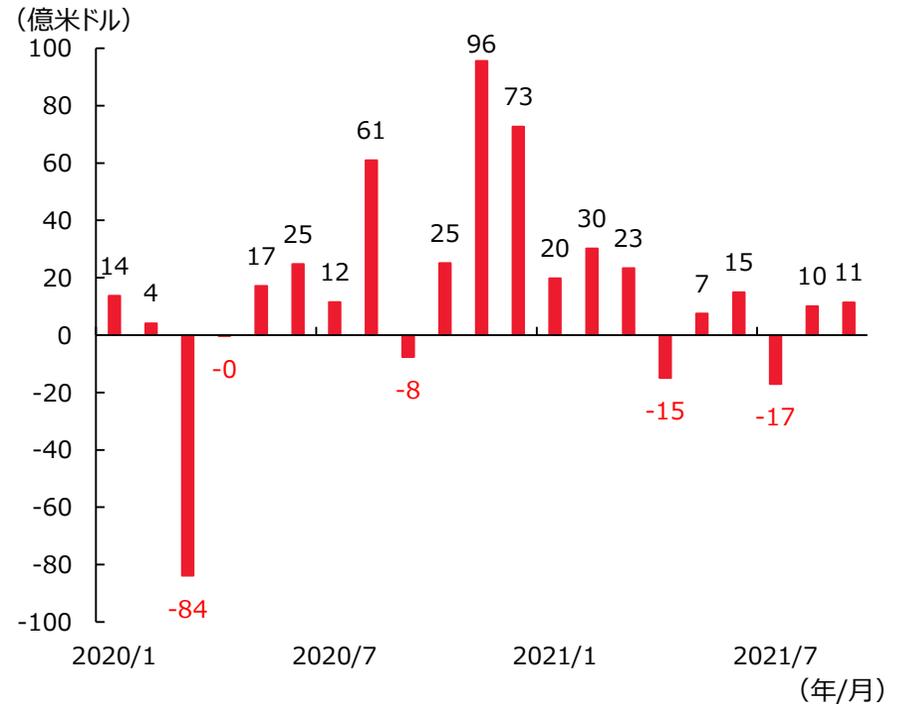
新興国株式市場への外国人投資家からの資金流入の推移

（月次、2020年1月～2021年9月）



インド株式市場への外国人投資家からの資金流入の推移

（月次、2020年1月～2021年9月）



出所：IIF（国際金融協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

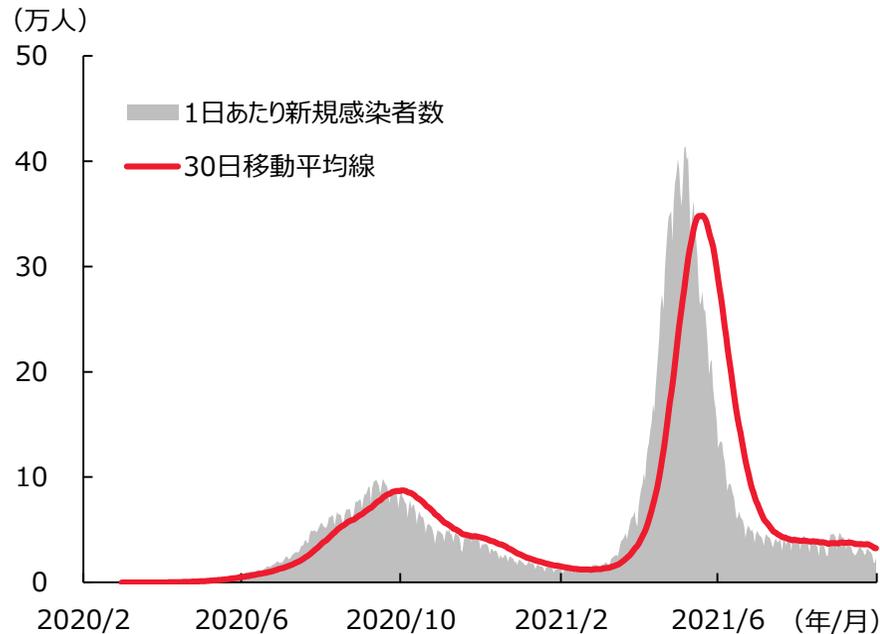
※左グラフ：2020年6月以降については同協会による推計値。右グラフ：2020年11月以降については同協会による推計値。

ワクチン接種回数の加速により、コロナ感染者数は低位安定

- 新型コロナウイルスの1日当たりの新規感染者数は現在約2万人となっています。また、市中での感染の広がり示す検査陽性率は、5月上旬に約23%でピークに達しましたが、ワクチン接種の進展等を背景に現在1.6%未満まで低下しています。（9月末時点）
- 9月30日時点で、累計約8億9千万回のワクチン接種が行われ、1回以上接種した人は人口の約48%となっています。

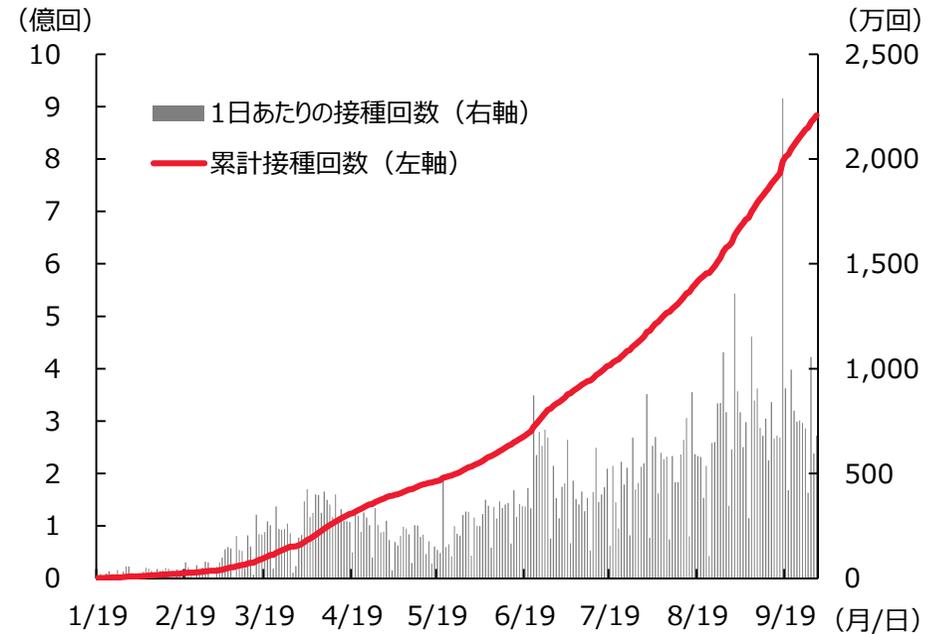
インドの新型コロナウイルス新規感染者数の推移

（日次、2020年2月1日～2021年9月30日）



インドのワクチン累計接種回数の推移

（日次、2021年1月19日～2021年9月30日）



出所：CEIC、ICICIAMのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。※インドのワクチン接種は2021年1月16日から開始

【ご参考】インド最大の都市ムンバイで進む冠水対策

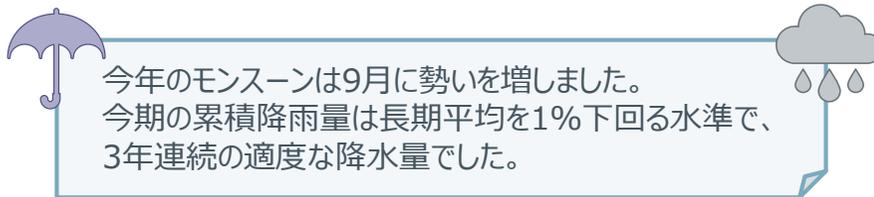
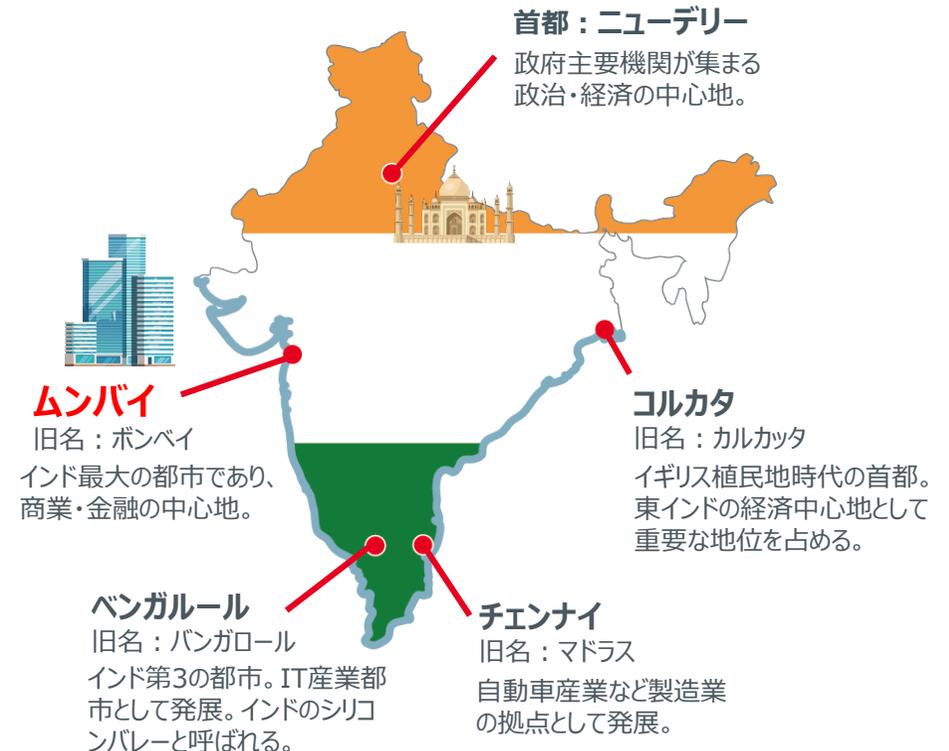
インド西部マハラシュトラ州政府は、9月にムンバイ市ヒンドゥマタにおける冠水対策事業が終了したと発表しました。インドでは6～9月のモンスーンによる冠水被害に長年悩まされており、ムンバイも例外ではありません。今回の冠水対策事業の完了により、被害軽減が期待されます。

ムンバイ初の巨大貯水施設

今回の冠水対策はヒンドゥマタ周辺の2地区にそれぞれ3万立方メートル規模の貯水槽を設置し、パイプラインを通じて雨水を排水するというものです。ムンバイ市で地下に貯水槽が設置されるのは史上初めてとなります。

日本企業にもビジネスチャンス？！

ムンバイ市では各地域で冠水被害が相次いでいます。その対策の一つであるミティ川氾濫対策事業では、日本で導入されている「首都圏外郭放水路方式」の採用に向けて、実現可能性調査が進んでいます。採用が実現すれば、日本企業にとって大きな商機になることが期待されます。



出所：各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会